



10月23日 24



甘みがぎゅっと凝縮
露地柿「次郎」目ぞろい会

浜名区の3か所の会場で、露地柿「次郎」の目ぞろい会を開き、生産者ら約160人が参加。出荷規格を丁寧に確認しました。例年に比べ着果量が少ない分、甘みが凝縮された柿に仕上がりに、12月上旬まで県内と京浜地区の市場へ約180t出荷しました。



10月12日 13日 14



日頃の愛顧に感謝
秋の植木まつり

会場の浜北営農緑花木センターで植木植え方講習会や植木剪定講習会、植木オークション、おたのしみ抽選会などを行いました。日頃の感謝を込めて植木や果樹苗、花鉢などを割引価格で販売し、開催期間中は晴天に恵まれ、多くの来場者でにぎわいました。



10月8日



暑さに負けずパセリ出荷
夏まきパセリ目ぞろい会

北地区支店で夏まきパセリの目ぞろい会を開き、生産者ら約60人が参加しました。夏の高温の影響で出荷が遅れが見られましたが、品質は例年通り上々です。目ぞろい会では参加者全員で出荷規格を確認。関東や関西の市場を中心に、4月頃まで出荷する予定です。



10月2日



「ゆら早生」からスタート
AI搭載新柑橋選果機稼働

新柑橋選果機が稼働を開始しました。極早生品種から3月の寿太郎温州まで選果が続きます。新導入のAI選果システムは目視で行っていた選果を学習し、精度の高い選果が可能に。オートメーションで労力軽減を図り、販売力を強化して、柑橋の生産振興に貢献します。



10月28日



地元高校生が朝食の大切さを学ぶ
朝ごはん食べよう！料理教室

女性部は、浜松開誠館高等学校で料理教室を行い、1年生の生徒40人が参加しました。JA静岡厚生連遠州病院の管理栄養士が講師を務め、朝食の大切さを説明。その後、土鍋でさくらごはんを炊き、地元の農畜産物をたっぷり使った豚汁を作りました。



10月24日 25



相続に対する知識を深める
相続対策セミナー

「なゆた浜北」と「浜松市雄踏文化センター」で相続対策セミナーを開きました。2日間で組合員や利用者ら約300人が参加しました。中野謙治税理士が、相続対策や節税、遺言について解説した他、近年の税制改正のポイントを分かりやすく説明しました。



10月10日



枝物振興に向けた新たな取り組み
枝物生産者に向け挿し木講習会

湖西営農センターで、挿し木講習会を初開催し、生産者ら40人が参加しました。枝物の産地振興やブランド力を強化することが目的です。参加者は、西部農林事務所による挿し木の基本について講義を受けた後、新開園の伊藤重之さんの実演を見て学習しました。



10月8日



野生動物の被害を防ぐために
鳥獣害対策講習会

花き連絡会湖北支部は、引佐支店で鳥獣害対策講習会を開きました。近年は鳥獣による被害が課題になっていきます。野生生物研究所ネイチャーステーション代表の古谷益朗氏が講師となって、鳥獣害対策の考え方や方法など、動画を使って分かりやすく説明しました。